

# ケアマネちゃんぽん

令和8年6月1日発行

発行責任者：長崎市介護支援専門員連絡協議会事務局 長崎市介護支援専門員連絡協議会報  
事務局住所：〒850-0015 長崎市桜馬場1丁目1-7 ケアプランセンターゆめライフ 内  
◆◆事務局へのお問い合わせ◆◆ TEL:095-811-5060 Fax095-811-5556 E-mail:cm.0901@threem.jp

あじさいが街を彩る季節になりました。今号では、最新技術の活用から現場の知恵まで、盛りだくさんでお届けします！

## ～ もくじ ～

○ケアマネ業務で生成AIを使ってみた話  
事務業務の時短になる？  
実際にケアマネがAIを使ってみた  
本音の体験レポートです！

○特集：便利屋さん  
『どこに頼めばいい？』を解決  
利用者様の生活を支える心強い  
パートナーをご紹介します。

○眠りスキャン導入効果  
ICTで介護はどう変わる？  
睡眠データ活用による『攻めのケア』  
の事例報告です。

○ケアマネかわら版

長崎市介護支援専門員連絡協議会ホームページを活用しよう！

長崎市介護支援専門員連絡協議会では、ホームページで、  
ケアマネジャーのお役立ち情報を発信しています。

- 長崎市からの周知事項
- 行政資料集
- ケアマネジャーの質の向上に関する研修の案内
- 業務マニュアル集 など

随時更新していますので、ぜひチェックしてみてください。  
URL： <http://www.cmchanpon.net/link.html>



ホームページ  
QRコード





# ケアマネ業務で生成AIを 使ってみた話



— 音声入力とAIで、文章作成はここまで楽になる —

株式会社トラネス  
ケアプランセンターあすなろ  
田崎 洋平

## はじめに



最近、「生成AI」という言葉を耳にする機会が増えました。ニュースやインターネット、研修の場などでも見聞きすることが多くなり、気になっている方も多いのではないのでしょうか。

一方で、

なんだか難しそう

若い人やITに詳しい人向けのもの

自分のケアマネ業務には関係なさそう

そんな印象を持っている方も、まだ少なくないように感じます。正直に言うと、私自身も最初は同じように感じていたし、覚える事が億劫に感じていました。ですが、実際に使ってみて分かったのは、生成AIは

**特別な人のための技術ではなく、現場で使える「文章整理の道具」**

だということです。今回は、私がケアマネ業務の中で実際にやっている生成AIの活用方法について、できるだけ分かりやすくご紹介したいと思います。

## 生成AIって、どんなことができるの？



ケアマネ業務には、支援経過、担当者会議の記録、アセスメント、説明文など、日々たくさんの文章作成が含まれています。生成AIが得意としているのは、これらの文章を「考えること」そのものではありません。

生成AIが力を発揮するのは、考えた内容を整理し、読みやすい文章に整えることです。

たとえば、

箇条書きで書いたメモ

話し言葉のまま入力した文章

項目ごとにバラバラになってしまった文章

こうした素材を、一つの自然な文章にまとめてくれます。大切なのは、「AIに任せきりにする」のではなく、

**人が考えた内容を、AIに整えてもらうという使い方です。**

## 音声入力 × 生成AIが 業務を変える



文章を入力するとき、キーボードで考えながら打つよりも、「話したほうが早い」と感じたことはありませんか？

実際に音声入力を試したことがある方も、多いのではないかと思います。ただ一方で、「誤字や言い間違いが多くて、修正が大変だった」「結局、手入力の方が早かった」そんな声もよく聞きます。

とても自然な感想だと思いますし、私自身も最初は同じように感じていました。ここで、少し考え方を変えてみました。音声入力は、きれいな文章を完成させるためのものではなく、考えをそのまま出すための下書きと捉えるようにしたのです。誤字脱字や言い間違いがあっても、修正せず、そのまま生成AIに渡します。生成AIは、文章の意味を理解しながら、誤字や表現を自然な形に整えることができます。人が一つひとつ修正するのではなく、整える作業をAIに任せる。人は、内容と判断に集中する。この役割分担ができてから、文章作成にかかる時間は、大きく短縮されたと感じています。

## プロンプトって何？



生成AIを使っていると、「プロンプト」という言葉を目にする場合があります。プロンプトとは、**生成AIに対する指示文のこと**です。たとえば、「ケアマネジャーの支援経過として、読みやすい文章に整えてください」といった指示も、立派なプロンプトです。このプロンプトをあらかじめ作っておくことで、毎回、同じ視点・同じ品質で文章を整えてもらうことができます。

## 実際に使っている活用例



活用方法は  
もっともっと  
あります!!

AI等に抵抗がある方は  
とにかく触ってみる事を  
お勧めしています!

私が実際に行っているのは、次のような使い方です。

### ① 支援経過やモニタリングの記録

音声入力や箇条書きで入力した内容を、支援経過やモニタリングの記録として読みやすい文章に整えてもらいます。

**最終的な確認や修正は、必ず自分で行います。**

### ② 担当者会議の記録

会議で出た意見や要点を入力し、記録として整理された文章にまとめてもらいます。

### ③ アセスメント文章の整理

利用者やご家族からお聞きした情報を、そのまま生成AIに入力し、アセスメントシートの各項目へ振り分けてもらっています。生活歴やこれまでの経過、日常生活での困りごと、ご本人の思いや希望など、面談の中で得られる情報は多岐にわたります。これらの情報を、「健康状態」「生活環境」「社会関係」「本人の意向」など、アセスメントシートの項目ごとに整理する作業は、時間も労力もかかりがちです。生成AIを活用することで、聞き取った情報をもとに、各項目へ整理・振り分ける下書きを作成してもらい、最終的な確認や修正は、自分で行っています。アセスメントシート作成にかかる時間を短縮することで、記録作業に追われるのではなく、利用者との関係づくりや、より深く話を伺う時間を確保することを理想としています。

## 生成AIは自動化ロボットではありません



生成AIは  
自動化ロボット  
ではありません

ここは、とても大切にしている点です。

**生成AIは、ケアマネの判断を代わりにするものではありません。支援内容を決めるものでもありません。**

**生成AIは、最高のアシスタントだと考えています。考えるのは人。判断するのも人。責任を持つのも人。**

**生成AIは、その思考を整理し、文章として形にする手助けをしてくれる存在です。**

## 個人情報の取り扱いについて



生成AIを使う際には、**個人情報の取り扱いに十分な注意が必要です。**

**ChatGPTを利用する場合、「すべての人のためにモデルを改善する」という設定は、必ずオフ**

にすることをお勧めします。また、必要以上の個人情報(氏名・住所・電話番号等)を入力しない、内容を必ず確認するなど、基本的な配慮を前提に活用しています。

## 生成AIはいろいろある



生成AIにはさまざまな種類があり、実際に使ってみると、それぞれに得意・不得意があります。また、生成AIは数か月単位で仕様や性能が変わることも珍しくありません。最初から一つに絞る必要はなく、使いやすいものから触ってみる。合わなければ無理に使わない。そんな関わり方で、十分だと感じています。

## おわりに



こんなこともできちゃうんです!

長崎市版「ケアプランの基本的な考え方と書き方」を簡単に要約して動画にしてみました。QRコードを読み込んでご覧ください☆彡



生成AIを使う目的は、「**楽をすること**」ではありません。文章作成に追われる時間を減らし、

**利用者や家族と向き合う時間を守ること。**

一つの選択肢として、生成AIという道具を、無理のない形で取り入れていけたらと思います。

※ちなみに、この記事の文章構成や画像、表現の多くも、生成AIの力を借りながら作成しています。人が考え、AIが整える。

そんな使い方の一例として、そっと添えておきます。

今回、生成AIについてご紹介しましたが、「何かを大きく変えよう」というよりも、日々の仕事を少し楽にできたらいいなという気持ちから使い始めたのが正直なところ。記録や文章作成など、効率化できる部分はAIやいろいろなツールに助けてもらいながら、その分、利用者さんと話す時間や、関係づくりに使える時間を増やしていけたらと考えています。まだまだ試しながら、という段階ですが、「これってどうしてるの?」「実際どんな感じ?」など、聞いてみたいことがあれば、分かる範囲でお話しします。気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです。いつでもご連絡お待ちしております。



秘密のプロンプト

# 特集：便利屋さん

「電球ひとつ、庭の草むしりひとつ。それができないだけで、在宅生活の継続が危うくなることがあります。」

介護保険制度の枠内では、どうしても手が届かない利用者の「困った」。ケアマネジャーの皆様も、日々そのジレンマと向き合っているんじゃないでしょうか。

本特集では、インフォーマルサービス(公的制度外サービス)の柱として、ケアマネジャーの皆様が安心して連携・提案できる地域の「便利屋」をご紹介します。

一口に便利屋といっても、事業者ごとにさまざまな特徴があります。

各事業所のホームページをQRコードで掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

なお、掲載は五十音順(敬称略)としております。(※令和8年6月1日現在)



株式会社一心多助			住所:〒851-2121西彼杵郡長与町岡郷545 電話番号:095-883-4949			
ホームページの有無	見積もり相談	遺品整理	ごみ屋敷の片付け	不用品回収	害虫駆除	
有	無料	○	○	○	○	
庭の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行付き添い	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル	ペットの散歩、留守番、電球の付けかけなど、なんでもご相談ください。
○	○	○	○	○	○	

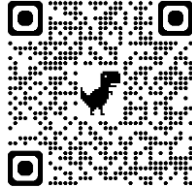
住まいるクリーンお手伝い屋			住所:852-8155長崎市中園町20-11-1F 電話番号:095-807-0628			
ホームページの有無	見積もり相談	遺品整理	ごみ屋敷の片付け	不用品回収	害虫駆除	
有	無料	○	○	○※1	○	
庭の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行付き添い	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル	スタッフ4名全員が30~40代。10年以上のキャリア、地域密着だからその迅速な対応ができます。些細なことでもお気軽にご相談ください。
○	○	○	○	○	○	

※1 作業内容によって、できること、できないことがあります


株式会社クリーンサービス原田			住所:852-8101長崎市江平1丁目23-22 電話:0120-077-076 095-845-0894			
ホームページの有無	見積もり相談	遺品整理	ごみ屋敷の片付け	不用品回収	害虫駆除	
有	無料	○	○	○	-	
庭の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行付き添い	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル	創業30有余年の便利屋としては老舗です。24時間対応で通話料無料のフリーダイヤルからお問い合わせいただけます。
○	-	-	-	-	○	

株式会社 ダイエイ			住所:〒850-0803長崎県風頭町1-29 電話番号:090-2856-0880			
ホームページの有無	見積もり相談	遺品整理	ごみ屋敷の片付け	不用品回収	害虫駆除	
有	無料	○※1	○※1	○※1	○※1	
庭の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行付き添い	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル	家屋に関することは、全て対応ができます。女性スタッフも在申しています。お気軽にご相談ください。
○	-	-	-	-	○	


※1特殊清掃可:通常のハウスクリーニングでは対応できない現場(孤独死など)を、専門的な技術と薬剤で清掃・消毒します


中村トランスポート株式会社 中村引っ越しセンター			住所:〒856-0046長崎県大村市木場2丁目 511-5 電話番号:0957-53-5656			
ホームページの有無	見積もり相談	遺品整理	ごみ屋敷の片付け	不用品回収	害虫駆除	
有	無料	○	○	○	-	
庭の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行付き添い	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル	
-	○	-	○※1	○	○※1	入院・入所・退去に伴う片付け案件の対応実績あり。立ち合い不要での作業も可能です。写真付き完了報告書も提出できます。介護福祉士・遺品整理士在籍。特殊清掃案件にも対応可能です。

※1協力業者対応

社会福祉法人長崎ボランティア協会一歩			住所:〒851-3101長崎市西海町1755-106 電話:095-801-2116 080-3999-1688			
ホームページの有無	見積もり相談	遺品整理	ごみ屋敷の片付け	不用品回収	害虫駆除	
有	無料	○	○※1	○	○※2	
庭の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行付き添い	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル	
○※3	○	○	○※2	○※4	-	不用品の処分・買取をはじめ、お困りごとあった解決方法やお手伝いをしています。多数の協力会社との提携により幅広く対応いたします。

※1物置の解体処分、バイクの処分も可能 ※2協力会社にて対応 ※3規模により対応 ※4単身者対応可能

便利屋 ベンリ企画			住所:〒851-2214長崎市鳴見町1517 電話:0120-846-551 090-8222-6668			
ホームページの有無	見積もり相談	遺品整理	ごみ屋敷の片付け	不用品回収	害虫駆除	
有	無料	○	○	○	○	
庭の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行付き添い	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル	
○	○	○	○	○	○	事故物件処理およびハウスクリーニング可能です。電球1個からのお仕事承ります。

株式会社まちのてらす			住所:〒850-0046長崎市幸町4-5-504 電話番号:095-807-7770			
ホームページの有無	見積もり相談	遺品整理	ごみ屋敷の片付け	不用品回収	害虫駆除	
有	無料	○	○	○	○	
庭の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行付き添い	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル	
○	○	-	○※1	○	○	害虫駆除は蜂と白アリのみ対応可能です。長崎市以外にお住まいの方もお気軽にご相談ください。可能な限り柔軟に対応いたします

※1協力業者対応

### 早見表

	遺品整理	ごみ屋敷片付け	不用品回収	害虫駆除	庭木の手入れ伐採	家具・家電の移動	手続き代行	ハウスクリーニング	引っ越し	水道トラブル
一心多助	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住みいるクリーンお手伝い屋	○	○	○※	○	○	○	○	○	○	○
クリーンサービス原田	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○
ダイエイ	○※	○※	○※	○※	○	○	○	○	○	○
中村引っ越しセンター	○	○	○	-	-	○	-	○※	○	○※
長崎ボランティア協会一歩	○	○	○	○※	○※	○	○	○※	○※	-
ベンリ企画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
まちのてらす	○	○	○	○	○	○	○	○※	○	○

夜間の見守りや巡視は、介護現場において大きな負担となる業務の一つです。利用者の安全を守りながら、職員の負担をいかに軽減するかは、多くの施設に共通する課題ではないでしょうか。こうした課題への対応として、介護老人福祉施設 喜楽苑では眠りSCANを導入しました。本記事では、実際に機器を活用している現場の様子や、導入によって得られた効果についてご紹介します。

## 眠りスキャンとは



パラマウントベッドが開発した『眠りSCAN』は、マットレスの下に設置するだけで利用者に機器を装着することなく、睡眠状態や離床を見守ることができる非接触型センサーです。心拍数・呼吸数・体動・睡眠状態を自動で測定し、離床や異常をリアルタイムで通知するため、夜間巡視の負担軽減や転倒予防に役立ちます。さらに、睡眠データを可視化することで利用者の生活リズムを把握でき、ケアの質向上にもつながります。

従来は施設内サーバーで管理されるため利用は施設内に限られていましたが、近年は在宅介護での活用ニーズが高まり、2025年5月には東京都練馬区と介護事業者団体が在宅介護における本人・家族・職員の負担軽減を目的としたモデル事業を開始しています。

## 導入までのプロセス

令和4年頃

### 研修に参加

眠りSCANに興味を持ち、『特別養護老人ホームかがやき』の施設内研修に参加しました。この時に、機器の概要を把握しました。



令和5年頃

長崎病協の担当者様から、眠りSCANは眠離床を感知するだけでなく、呼吸・心拍の変化などを通知音で知らせられることを教わりました。  
また、「ほのぼの介護記録」との連携することができるとのことです。

### 【導入することでの可能性】

- ・夜間帯の職員補助として有効かも
  - ・記録業務の負担軽減が期待できるかも
- ⇒次年度の導入に向けて準備を開始！



令和6年3月

### リリース開始

- ① 眠りSCANセンサー  
マットレスの下に設置し、心拍・呼吸・体動・睡眠状態を測定し、睡眠状況や離床の兆候を把握するセンサー。
- ② 離床センサー  
ベッドの端や床などに設置し、利用者が実際にベッドから離れようとした瞬間を検知する。



## 連携・活用状況

### 導入1年目（R5.3～R6.3）

- ・業務に支障なく導入できるよう、システムに慣れることや活用方法について検討を重ねました。
- ・睡眠状態の把握、夜間睡眠記録の活用を中心に活用を開始しました。



### 導入2年目（R6.4～R7.3）

#### ・睡眠確認

入眠までの経過を把握できるため、睡眠薬の服用時間の調整や、日中活動量の向上による睡眠効率の確認に活用しています。

#### ・呼吸・心拍の変化の把握

呼吸数や心拍数の増減が通知音で分かるため、肺炎や風邪などの体調変化に早期に気付き、早期受診・治療につなげています。

#### ・個別設定による健康管理

利用者ごとの平均値から大きく変動した際は、通知音設定をしており、看護師と連携しながら医療的な対応がしやすくなりました。

#### ・看取り期の活用

睡眠・呼吸・心拍の変化から状態を把握できるため、段階に応じた設定を行いながら、ご家族とともに看取りを行いやすくなりました。

## 医療連携・アセスメント

毎月の医療連携会議でデータを共有し医師から助言を受けているほか、アセスメントでは睡眠状態や日中活動性の把握にも活用しています。

### ・状態変化時の検証

通常は使用しない方でも、誤嚥性肺炎発症時には発症時間の確認に活用し、胃瘻栄養の内容や臥床時間の調整について看護師と検討する場面がありました。

## 導入後の変化

### 介護スタッフへの効果



- ・端末で利用者の睡眠状態を簡単に確認できるようになったことで、夜間の巡視頻度を減らすことができ、介護職員の負担軽減につながっています。
- ・通知音は複数のパターンから選択でき、利用者の自立度やリスクに応じた設定が可能です。これにより、対応の優先順位を明確にし、より適切な対応ができるようになりました。
- ・看護師が利用者ごとのバイタル情報をもとに通知音を設定することで、体調の変化にも気づきやすくなり、早期対応につながっています。

### 利用者・家族への効果

- ・マットレス下に設置するセンサーのため離床検知の精度が高く、覚醒・起き上がり・離床の状態を個別に設定することができます。その結果、ベッドからの滑落事故の減少にもつながっています。
- ・心拍数や呼吸数の変化を通知音で知らせることで、利用者の体調変化に早期に気づきやすくなりました。
- ・カンファレンスではデータを活用して家族へ説明することができ、視覚的で分かりやすい情報提供が可能となりました。

## 導入して良かった点・課題

### 良かった点



- ①睡眠傾向(就寝・起床時間)を把握することで、危険予測に基づいたケアの組み立てが可能となり、転倒事故等の予防につながります。例:覚醒時間に合わせてトイレ誘導を行うことで中途覚醒が減少し、利用者の睡眠時間の確保にもつながっています。
- ②夜間は入所者55名に対し職員2名を配置していますが、巡視回数の減少や睡眠記録の自動化により、職員の業務負担の軽減につながりました。
- ③異常の早期発見・早期対応が可能となり、肺炎などの重症化の減少につながっています。
- ④看取り期の利用者についても状況の把握がしやすくなり、呼吸苦などの早期発見につながりました。
- ⑤ご家族への説明も段階的に行いやすくなり、ご家族の安心感にもつながっています。

### 今後の課題



#### 居宅ケアマネとの連携

- ①ショートステイ利用時など、睡眠状態や夜間ケアに関する情報提供を行うことで、家族介護負担の軽減や、ケアスタッフの連携につながる可能性がある。
- ②退所や在宅復帰の際、睡眠傾向・離床状況・夜間リスクなどの情報を引き継ぐことで、退所後のリスク把握に役立つ可能性がある。

## まとめ

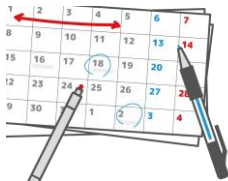
眠りSCAN導入当初は、目新しい機器に慣れるまで戸惑いもありました。しかし、これまで現場で培ってきたケアの経験と機器によって得られるデータを組み合わせることで、より質の高いケアの提供につながっています。眠りSCANの導入により、利用者の安全確保、職員の業務負担の軽減、医療機関との連携強化など、多方面で効果を実感しています。今後もデータを活用しながら、より良いケアの実践につなげていきます。

# ケアマネかわら版

私の休日は、ほぼ“娘のバスケ応援団 兼 専属マネージャー”。職場に行けば“施設長 兼 ケアマネ”。肩書きだけは二刀流だけど、体は一つ！と毎日つぶやきたくなる。

平日は仕事、週末は体育館で缶詰め生活。「自由時間って都市伝説？」と自問自答しながら、気づけば一年が経過。周りからは「習い事が終わったら寂しくなるよ～」なんて言われるが、心の中では“いや、ちょっと自由になりたい…！”と風船みたいに欲望がぷくぷく膨張中。さらに、将来は親の介護もスタンバイしているという未来予想図まで見えてくるから、まるで人生はノンストップのイベント列車。そんな中でも、なんとか“私の時間”を確保すべく、一人でこっそり作戦会議を続けている今日この頃です（笑）

ペンネーム：ゴールデンウイーク



昔から食べるのが好きで、おいしいと聞けば、ついお店へ足が向いてしまうタイプです。「これは地域資源の開拓」という理由を口実に、今日もどこかで箸を握っています。気づけば体重はゆるやかな右肩上がり。利用者さんから「最近、貴禄出てきたね」と笑顔で言われるたびに、なぜか背筋が伸びます。ケアマネとしてアセスメントされている気分です。最近、事業所宛に届いたカレンダーを持ち帰り毎日、体重を記入するようになりました。数値を“見える化”する大切さを改めて感じました今日この頃。ところが、数字は正直。努力の跡より、食事の満足感がしっかり反映されています。

自己管理もケアプランも、思うようにいかないこともある。と言い訳をしながら、だからこそ工夫する。寄り添う。まずは自分の体重と向き合いながら、今日も利用者さんの「その人らしさ」を支える一日です。適正体重への道のりは、長期目標に。短期目標は今夜の間食を少しだけ見直すことにします。（笑）



ペンネーム：ふとっちょぱっくんちょ

ケアマネの仕事をしていると、「記録すること」の大切さを日々感じます。サービス担当者会議の記録、モニタリング、支援経過…。どれも後から振り返ることで、利用者さんの生活の変化や支援のヒントに気づくことがあります。

そんな日々の中で、最近自分でも小さな記録を始めました。それは「歩いた歩数」です。スマートフォンの歩数計を見て、「今日はよく動いたな」「思ったより歩いていないな」と一人で納得したり、少し反省したりしています。数字として“見える化”されると、不思議と意識も変わるものですね。

利用者さんの生活も、自分自身の生活も、小さな積み重ねの連続です。健康づくりも、特別なことではなく、毎日の一步一步の積み重ね。そんなことを改めて実感する今日この頃です。

ペンネーム：ほすうけい

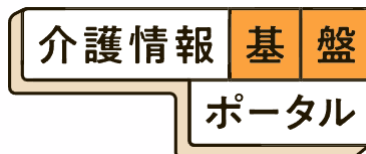


# 介護DXの鍵となる「介護サービス情報基盤」

介護分野でもデジタル化（介護DX）が進められており、その中心となる仕組みとして「介護サービス情報基盤」の整備が進められています。これは、要介護認定情報やサービス利用状況などの介護に関する情報を、自治体や医療機関、介護事業所などがデジタルで共有できる全国共通の仕組みです。

これまで介護現場では、認定情報の確認や事業所間の情報共有などを紙やFAXで行う場面が多く、手間や時間がかかることも少なくありませんでした。こうした課題を解決し、必要な情報を必要なタイミングで共有できる環境づくりが進められています。

なお、長崎県では2027年12月8日から運用開始予定とされています。ケアマネジャーにとっても、認定情報の確認やサービス事業所との連携のあり方が変わっていく可能性があります。制度の変化を「まだ先のこと」と捉えるのではなく、日々の業務をより円滑に進めるための仕組みとして関心を持っていくことが大切ではないでしょうか。新しい仕組みを理解し、これからの介護のかたちを考えていくことが求められています。



## 広報誌「ケアマネちゃんぽん」 デジタル配信のお知らせ

これまで広報誌「ケアマネちゃんぽん」は紙媒体で発行してまいりましたが、次号より長崎市介護支援専門員連絡協議会のホームページにPDFデータとして掲載する形へと変更することとなりました。

会員の皆様へ広報誌の配信方法についてアンケートを実施したところ、「デジタル版での配信がよい」とのご意見が多く寄せられました。その結果を踏まえ、今後はホームページ上でご覧いただける形でお届けいたします。これまでの紙媒体での発行は、手に取って読める良さがある一方で、印刷や仕分け、配布などに時間と手間がかかり、掲載したい情報があってもタイムリーにお届けすることが難しいという課題もありました。

デジタル化することで、より迅速に情報を発信できるようになることを期待しています。現在、当協議会のホームページには、これまでに発行した広報誌「ケアマネちゃんぽん」もデータとして掲載しております。ぜひあわせてご覧ください。



主役員	会長兼中央ブロック長	松尾 史江	ケアプランセンター ゆめライフ	○広報委員長 水頭正樹（ケアプランセンターヨケア）  ○北部ブロック広報委員 井上 章史（ケアプランセンターあき長崎） 高島 謙介（ケアマネセンターいろは）  ○中央ブロック広報委員 田崎 洋平（ケアプランセンターあすなろ） 永富 幸美（長崎市桜馬場地域包括支援センター）  ○南部ブロック広報委員 山口 里佳（小規模多機能型居宅介護 サンブライト愛宕III） 大平 奈美子（喜楽苑居宅介護支援事業所）  ○施設ブロック広報委員 若菜蒙（介護支援センターながさき グループホーム桜木）
	副会長兼施設ブロック長	田中 秀和	社会福祉法人 平成会	
	研修委員長	柳川 裕美	ケアプランセンター ゆめライフ	
	書記兼施設副ブロック長	前川 淳太	社会福祉法人みのり会 特別養護老人ホーム 三和荘	
北部	ブロック長	迫 久美子	ケアサポート春	
	副ブロック長	水口 綾	北多機関型地域包括支援センター	
	副ブロック長	和田 公一	ケアプランセンター 結糸（いと）	
	副ブロック長	高比良 厚子	長崎市緑が丘地域包括支援センター	
中央	副ブロック長	馬場 大輔	みらい社会福祉士事務所	
南部	ブロック長	松尾 智香子	長崎記念病院居宅介護支援事業所	
	副ブロック長	西本 美佳	長崎市南部地域包括支援センター	
	副ブロック長	佐藤 真也	メディカルネットワーク居宅介護支援事業所	

き よう ごう どう ほう りっ じ む しょ  
崎 陽 合 同 法 律 事 務 所

TEL 095-827-3535

## 司法と福祉との連携

こんなことでお困りではありませんか？

\*\*\* 取 扱 い 業 務 \*\*\*

◆個人向け

成年後見・遺言・遺産分割・死後の事務対応・不動産の処分・離婚・その他高齢者障害者に関わる法律問題・・・etc

◆法人向け

顧問業務・労務管理・クレーム対応・債権回収・契約書等のチェック・講義研修依頼・・・etc

介護支援専門員の方からの利用者及びそのご家族に関する相談（成年後見・遺言・遺産分割 etc）は、無料で受け付けています。まずは、下記eメールまでご連絡ください。

私たちが対応します！

弁護士 石井 精二

弁護士 今井 一成

弁護士（社会福祉士・精神保健福祉士）

伊藤 岳

（長崎県弁護士会所属）



崎陽合同法律事務所

〒850-0876 長崎市賑町5番21号

パークサイドトラヤビル401

TEL 095-827-3535

FAX 095-823-0616

ホームページ [www.kiyougoudou.com/](http://www.kiyougoudou.com/)

伊藤eメール [gaku-social-lawyer@outlook.com](mailto:gaku-social-lawyer@outlook.com)

